

学習の指針（シラバス）

教科名	技術科	実施学年	1年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・生活や社会で利用されている材料と加工の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を持つことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価資料
第1学期	5	●ガイダンス 1、技術科ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習内容を知り、関心を持ちながら、見通しを持つとする。 ・技術の進展と環境への影響について考え、よりよい社会の実現に向けて考えようとしている。 	35時間	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・製図プリント ・自己評価 ・ワークシート
	6	●材料と加工に関する技術 ・材料について ・設計について	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や金属、プラスチックなどの材料の特徴を知り、適切な利用方法を理解している。 ・設計の進め方を理解し、材料ごとに適切な加工方法を考えることができる。 		
	7	4、けがき	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品を図に表す方法を理解し、正しい方法で書くことができる。 ・けがきの必要性を理解し、さしがねを適切に利用してけがきができる。 		
第2学期	9	・切断	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりを適切に利用して、正確な切断ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・作品 ・自己評価 ・ワークシート
	10	・切削 ・穴あけ	<ul style="list-style-type: none"> ・かんなやペーパーがんなを利用して、正確に切削ができる。 ・ボール盤を利用して、適切な方法で穴あけができる。 		
	11	・組立て	<ul style="list-style-type: none"> ・げんのうや接着剤を利用して、正確な組立てができる。 		
	12	・木製品の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・木材を材料から製作品にするために適切な加工方法を考え、効率的に作業し、製作品を作ることができる。 		

第3学期	1	・木製品の製作	・木材を材料から製作品にするために適切な加工方法を考え、効率的に作業し、製作品を作ることができる。 ・材料に適した加工技術等の特性を知り、日常生活に役立てる技術を見つけることができる。	・作品 ・自己評価
	2			
	3	・1年間のふり返り		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・学習プリント ・学習への取り組み ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、学習プリント、自己評価等から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、製作した作品の技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価等から評価します。	・作品 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・定期テスト前には予想問題が配布されます。計画的に学習を進めてください。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・副教材：技・家ノート、資料とじ込み用ファイル